

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 志免東教室 保護者等数(児童数)8 回収数 6 割合 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					十分でありのびのび過ごせている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2			4	わからない	児発の送迎と重なる為、全く適切じゃない。放デイには放デイの職員が必要。放デイをやるかやらないか考えるべき。中途半端だと思う。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか			3	3	バリアフリーは全くない。そのような障がい児への配慮がなされているような設備は全く感じられない。危険なところが多い。いつも門と玄関のかが壊れている。めくれた人口芝にひっかかりやすく怖い。	これについては職員には対応し兼ねる。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	1	5				ニーズやその児童の課題に合わせて計画している。継続する。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5	1			いつも違うプログラムで楽しそう	毎月、新鮮さを大切に考えているので継続していく
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	1		そのような機会はない	ニーズがあれば考えたい
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	1			担会等でできている	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	2			連絡帳や送迎の際にお話を聞いている	保護者とのコミュニケーションを大切にしており、定期的に電話やLINE、連絡帳にて保護者に合わせたツールで行っているので継続していく
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2			電話や送迎時に聞いてもらっている	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			6		そのような機会はない	ニーズがあれば考えたい
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				その都度返答してしてもらっている	即対応し、改善に努めていく
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6				連絡帳、LINE、電話等でしてもらっている	コミュニティを大切にしている
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5			1	プログラムとおたよりが毎月配信されている。何かある場合は公式から配信がある。	これに関しては力を入れており、子どもや保護者様に魅力的に感じてもらえるよう考えている
14 個人情報に十分注意しているか	6						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2			4	防犯はとてまあいいと思う。門や玄関の鍵は常に壊れていたり、教室の大きい窓は完全に閉まりきらない感じで壊れている。	早急に修理してほしい。構造上、すぐに壊れてしまうとかわかってるので2~3ヶ月に1回等確認修理を業者に依頼するなど必要があると思う。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			4	避難訓練やそれについての学習もあって安心	非難訓練は児発の送迎と重なる為、学習プログラムにはなるが訓練を増やしたい
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	3	3			楽しみにしているがなかなか利用させてもらえず困っている	放デイの利用を受けられないのなら、と正直思う
	18 事業所の支援に満足しているか	3	3			連絡帳の記入が簡単すぎる。いつも全ての活動が達成5)Oがついている。できないはずなのに心配面がある。忘れ物をして連絡もなくそのままなことがある。	連絡帳の確認をしたところ、確かにそのようなことが基本となっており、どこかで連絡帳の書き方の伝わり方が間違っていることに気付いた。この意見について周知し共有している。忘れ物については基本的にはすぐ連絡しお届けるか、次回返却している。漏れがないよう改めて対応について周知している。

64 18 10 16

59%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 志免東教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			適切
	2 職員の配置数は適切である	2	8	できるだけ教育免許保持者、保育士をつけている	不適切。放デイをやるならきちんと受け入れも職員体制も整えるべき。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	9	危険な場所、壊れているところだらけなのでその場を避けたり抱いて通る。できる限りガムテープを使って自分たちで応急処置をし続けている	大変苦情が多い部分。施設のつくり上壊れやすい。デザイン重視が問題かと思う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10			パートさん(時短の)まで広がるよう今後もLINE(全体業務LINE)にて周知していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		アンケートにより知れた苦情などに関しては早急に改善したい。	こわれているシステム(利用の)設備に関しては私たちには何もできないが、できることは続けて改善していく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		LINE配信しているが、紙での配布を希望される方へは対応している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	1		外部かは分からないが、本社や代表の意見に対応していく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	資料等を等を見て個々で勉強する	研修の機会が全くない為、そのような機会を作っていけるよう相談する
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	常にニーズに合わせて計画を立てている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		行っている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	2	これに関しては計画に影響が出るため、専門性のある職員が行う	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		一番力を入れている。子どもや保護者が魅力的に感じるような様々な計画を考えている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10		長期の学校の課題には計画を立て一日にすべきところを分かりやすく支援し、きちんと終わるようにしている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10		子どもの心理状態や集中力に合わせて個別と集団に分けて考えている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		内容や支援方法を話し合っている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		必ず話し合っている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		毎回記録をとり、その児童の現況を知り次へと繋げている	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10		行っている		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	3			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10				
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10		学校の連携や情報共有はできる範囲で行い、こちらで注意すべきことを把握できるようにしている		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			医療ケア児受け入れなし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	5		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10		経験がない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	8		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	8		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	8		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	2		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		月のプログラム予定、おたよりはもちろん日々の活動の時系列等もお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意している	10			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	2		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10		避難訓練、事故対応訓練を様々なケースで月1回行っている。	
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		様々な災害やケースに備えて行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2		年2回実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			身体拘束は行はない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2		現在は対象児童がいないが対応していた	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2			